

彼岸花

彼岸花は9月の秋分の日頃に花茎の先に強く反り返った鮮やかな赤い花を咲かせます。秋の終わりに葉が伸びて翌年の初夏に枯れるという多年草としては珍しい性質を持っています。

原産地は中国大陸です。日本では帰化植物に分類されています。地下の鱗茎（球根）は強い毒を持つ有毒植物です。昔は土葬だったので、他の動物に掘り起こされないように彼岸花を墓場に植えたようです。俳句や短歌では別名の曼珠沙華（まんじゅしゃげ）がよく使われます。「つきぬけて天井の紺曼珠沙華」（山口誓子）「夏ゆけばいっさい棄てよ忘れ

よといきなり花になる曼珠沙華」（今野寿子）。

筆者がかつて国語の教師として韻文の教材研究をしていたときその名称の多さに驚いた記憶があります。日本における地方名や方言で使用されている名称は、千種以上あると言われるいます。葬式花（そうしきばな）、墓花（はかばな）、死人花（しびとばな）、地獄花（じごくばな）、幽霊花（ゆうれいばな）、蛇花（へびばな）、狐花（きつねばな）、捨て子花、灯笼花（とうろうばな）、天蓋花（てんがいばな）等、並べてみると不吉な別名の多いことが分かります。私は開花時に葉がなく、花と葉を同時に見られないため「葉見ず花見ず」という名称が一番好きです。

○語彙力チェック

①「生兵法（なまびょうほう）」の正しい使い方は次のどれか。

A 生兵法は出世の近道

B 生兵法は勝利を招く

C 生兵法は怪我のもと

②「休日に働く者」の意の「怠け者の□□働き」の□□に入る正しい言葉は

次のどれか。

A 節季 B 節句 C 節分

③「悔しさをこらえる」意の慣用句「涙を〜」の「〜」に正しい言葉を入れよ。

A 飲む B 拭（ぬぐ）う C 覚える

④「並々」を使った文のうち、正しいものを選べ。

A 彼は並々ならぬ才能の持ち主である。

B 彼は並々の才能の持ち主である。

⑤「習い口となる」の□に正しい語を入れよ。

A 生 B 性 C 癖

⑥「奈落」と同じ意味の語は次のどれか。

A 天国 B 地上 C 地獄

（解答）①C ②B ③A ④A ⑤B ⑥C